

がんセンター
県立がんセンター

「ワクチン治療」の治験 肺がんも対象に

県立がんセンター(横浜

市旭区)が実用化に向けた効果や副作用の検証を進める「がんワクチン治療」について、県は11日、今後の治験(治療の臨床研究)対象に肺がんも加える考えを明らかにした。膵臓がんだけでなく、患者数の多いがん種にも研究の幅を広げていくという。

がんワクチン治療は、手

術、放射線治療、化学療法に次ぐ第4のがん治療として国内外から注目を集めている分野。同センターは、膵臓がんと食道がんを対象に、4月に新設した「がんワクチンセンター」で近く治験を始める方針を示していた。

今回、新たな対象に挙げた肺がんは、国内の死亡者数トップ。2012年にがんで死亡した約36万人のうち、2割(約7万1千人)を占めている。

11日の県議会本会議で、公明党の渡辺均氏(藤沢市)の代表質問に答えた黒岩祐治知事は「多くの患者さんが、がんワクチン療法に期待している。安全性に配慮しながら、一日も早く薬事承認を取得できるよう、県として引き続き支援していく」と述べた。(原 隆介)